研究依頼契約書

_____（以下、「甲」という）と バイオシステム研究所
（以下、「乙」という）は、甲の乙に対する研究依頼に関して次の契約を締結する。

第1条（研究の実施）

- 甲および乙は、甲から乙へ依頼された研究課題
（以下、「依頼研究」とする）の実施に際して、契約書記載の内容について順守しなければならない。
- 甲と乙は、鋭意をもって依頼研究を遂行するものとする。

第2条（秘密の保持）

甲および乙は、依頼研究を遂行するためにそれぞれが得た情報、相互に交換した情報、および研究実施により得られた情報等の秘密事項を、甲および乙相互の合意を得ずに第三者に漏らしてはならない。

第3条（実施期間）

- 依頼研究の実施期間は 年 月 日～ 年 月 日
までの期間とする。
- 甲は、依頼研究を実施期間中に中断を希望する場合は、または期間延長を希望する場合は、乙に対してその旨を書類で申し出ることとする。

第4条（研究手数料）

- 甲は、乙に対して第1条に明記する主題と第3条に明記する期間の研究を依頼するに際して、研究手数料として月額円を乙に支払う。
- 研究依頼手数料の支払いは、原則的に依頼研究実施月の前月末までに行うこととする。

- 3) 契約日が実施月と同一の場合は、甲は速やかに乙に手数料を支払わなければならない。

第5条（実施場所）

- 1) 依託研究の主たる実施場所は、バイオシステム研究所内とする。
- 2) 依託研究遂行に当って乙の研究者がバイオシステム研究所以外の場所に出向く必要がある場合は、甲は乙に対して研究者派遣願を提出して経費を支払う。

第6条（研究員の派遣）

- 1) 甲は、依託研究を速やかに遂行するために、甲の管理する研究員をバイオシステム研究所に派遣して乙に所属する専門家の指導のもとに共同研究をすることができる。
- 2) 甲が派遣する研究員は、乙に対して誓約書を提出し、バイオシステム研究所が別に定める規則、規定等を順守することとする。

第7条（研究経費）

- 1) 依託研究遂行に当ってバイオシステム研究所が所有する機器、装置等を使うものとする。ただし、本研究を速やかに実施するために特に必要とする機器、装置、アルバイト要員等については甲が用意するものとする。
- 2) 研究に必要な薬品、器具等の消耗品については、甲が乙に提供するものとする。

第8条（知的財産権）

- 1) 依託研究の成果として知的財産権が生じた場合は、原則として甲および乙の共有のものとし、これに関して別に契約書を結ぶ。
- 2) 依託研究を通して得られた情報を基にして契約期間後に新たに知的財産権が

生じた場合は速やかに相手方に報告することとし、知的財産権については原則的に甲および乙両者の共有のものとする。

第9条（特許出願経費）

特許出願の際の出願経費、特許料、その他出願及び特許管理に関する諸経費は、甲が負担するものとする。

第10条（実施権）

- 1) 甲は、依託研究の結果得られた発明を実施するに当って専有実施を行うことができる。
- 2) 甲が1項の実施を行わない場合、乙は第三者に対し当該発明の実施を許諾することができる。

第11条（成果の公表）

- 1) 甲または乙は、依託研究の成果を乙または甲以外の第三者に対して知らせる場合は、それぞれが相互の同意を得るものとする。
- 2) 依託研究の成果を学会発表または学会誌、新聞誌等に公表する場合は、甲および乙が同意のもとに行うものとする。

第12条（協議）

甲および乙は、依託研究遂行および成果の実施等に関して新たな問題が生じた場合、お互いに誠意をもって協議するものとする。

この契約締結に当って、本契約書を2通作成し、甲および乙それぞれ記名押印の上、各1通を保有する。

年 月 日

【甲】

印

【乙】

大阪府茨木市西中条町8番19号

バイオシステム研究所

檜山圭一郎

印__